

派遣先所属 福島県生活環境部除染対策課  
氏 名 中嶋 克宏 (なかじま かつひろ)  
派遣期間 平成30年4月1日～平成31年3月31日

## 1 派遣業務の内容、現況

派遣先の除染対策課では、東京電力福島第一原子力発電所の事故で発生した放射性物質について除染等の措置を推進しています。除染とは人々が生活する空間で受ける放射線量を下げするために、放射性物質を含む土壌等を「取り除く」、放射線を「遮る」、取り除いた放射性物質を「遠ざける」ことを指します。

除染で生じた除去土壌等は除染現場や近くの仮置場で一時保管され、大熊町、双葉町の間蔵施設に輸送されます。そして、最終的には福島県外で処分されます。

帰還困難区域などの除染は国が、それ以外の地域の除染は市町村が主体となって行います。市町村が主体となっていく地域の面的除染は平成29年度をもって終了しました。現在は現場保管や仮置場保管されている除去土壌等を中間貯蔵施設へ搬出するための作業が本格化しています。

今後の課題として、除去土壌等の適正管理と早期搬出、仮置場として使用していた土地の原状回復、住民の放射線に対する不安の解消などが挙げられます。

除染対策課ではこれらの課題について、市町村への技術的支援や財政支援などを行っています。

除染対策課は埼玉県から派遣されている私を含め総勢24名の構成となっています。

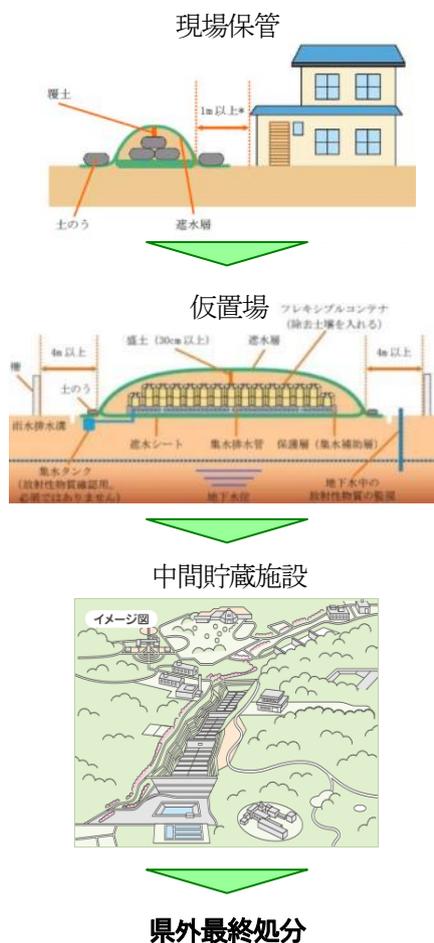
### 【私の主な担当業務】

#### (1) 除染等業務講習会

除染やそれに関連する業務を行うにあたって、作業員の放射線被ばくを低減しなければなりません。そのために必要な知識や技能を習得するための特別教育を行わなければならないことが「除染電離則」で定められています。福島県では除染関連業務を行う事業者育成のために、この特別教育に相当する「除染等業務講習会」を平成23年度から主催しています。

#### (2) 労働安全に関する業務

除去土壌等の搬出作業における労働災害の防止のために、環境省、労働局、市町村と福島県の



除去土壌等の保管から処理までの流れ

4者合同で作業現場のパトロールを行っています。現場で事業者への注意喚起を行うとともに、パトロールで見つかった改善点や優良事例は各市町村と共有し、事故の未然防止を目指しています。

### (3) 県有施設の除染等業務

市町村除染地域では市町村が除染や除去土壌等の搬出業務を行っています。県有施設（県立学校など）については県の担当部局がその業務を行っています。私の所属する発注支援チームでは県有施設から出た除去土壌等が円滑に搬出されるよう各種支援を行っています。

### (4) その他

今年9月に東京都のJR有楽町駅前で開催された福島県のPRイベントで除染対策課のブースを設置し、福島県の環境回復の現状や取組についての説明や、霧箱という実験装置を用いて放射線についての説明を行いました。

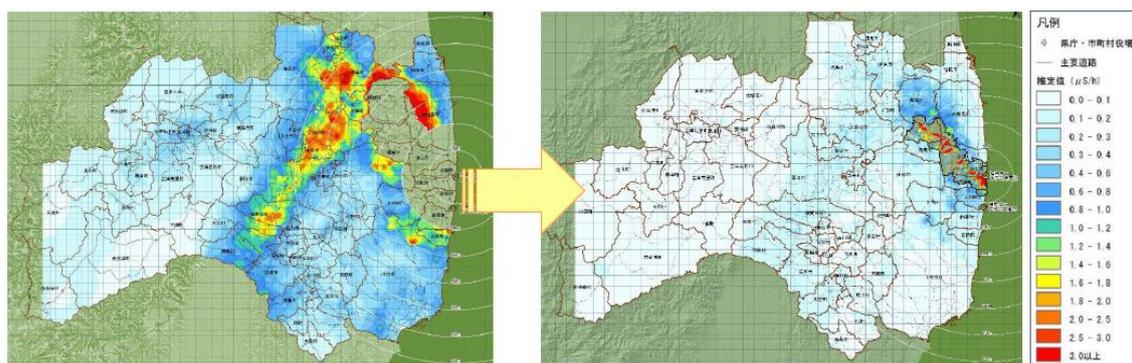
## 2 被災地の復旧・復興の状況

除染の取組や放射性物質の自然減衰などにより福島県内の空間線量率は事故後と比べて大幅に減少しています。

ただし、依然として住宅の敷地や仮置場などには除去土壌等の土のうが置かれているのが目につく状況です。住民の皆様の不安感や福島県に対する風評の払拭のためにも、早期の搬出が求められています。

また、帰還困難区域においては、今年から特定復興再生拠点区域の整備のための除染作業がインフラ等の整備と併せ本格的に始まっています。

復興に向けた取組は一步一步着実に進んでいます。しかし、住民の方々が元の暮らしを取り戻すためにはまだまだ課題は山積みであり、引き続き支援の手が必要であると感じています。



平成23年4月12日～16日

平成29年4月5日～7月5日

福島県環境放射線モニタリング・メッシュ調査結果に基づく福島県全域の空間線量率マップ

### 3 被災地へ派遣となって感じたこと

帰還困難区域などを除き、福島県内の空間線量率は他の都道府県とほとんど変わらない水準まで低下しています。福島県産の農林水産物についても、ほとんどの品目で国際的な水準と比べてはるかに厳しい基準をクリアしており、市場に出回っているものは安心して口にすることができます。

しかし、震災・原発事故から7年以上が経過し、福島県外、東北地方以外では、福島の復興や環境回復に関する話題を耳にする機会はかなり少なくなっています。新たな情報が入ってこないために事故直後のイメージが更新されず、漠然とした不安を抱いたまま関心が薄れている人も多いのではないかと感じています。

前述のPRイベントに参加した際は、関心のない人に対して興味を持ってもらうことがいかに難しいことかを実感しました。

本当の意味での復興のためには、福島の今についてより多くの人に正しく知ってもらうことが何より大切だと感じています。

福島県に派遣になって様々な福島の魅力に触れることができました。福島は自然豊かで風光明媚な場所がたくさんあります。日本酒がとても美味しいです（全国新酒鑑評会で金賞受賞数「6年連続日本一」達成！）。また、相馬野馬追いなどのイベントでは、福島の方々の郷土に対する誇りを感じることができました。

みなさま、まずは一度、福島に来てみてください。



相馬野馬追い 神旗争奪戦

今年は8年ぶりに浪江町から騎馬武者が出陣



今年で戊辰150周年を迎えた

会津のシンボル 鶴ヶ城